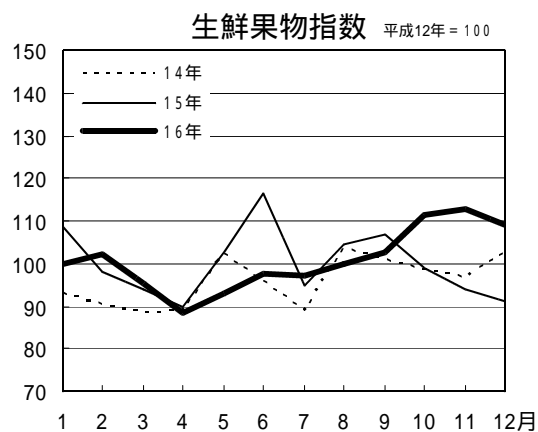
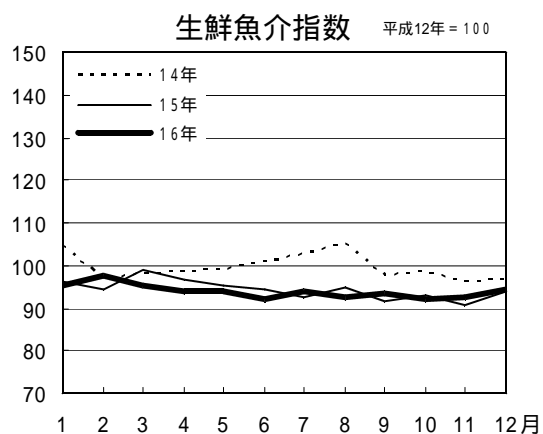
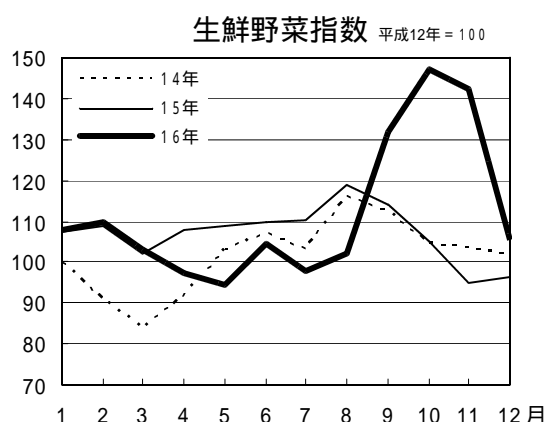
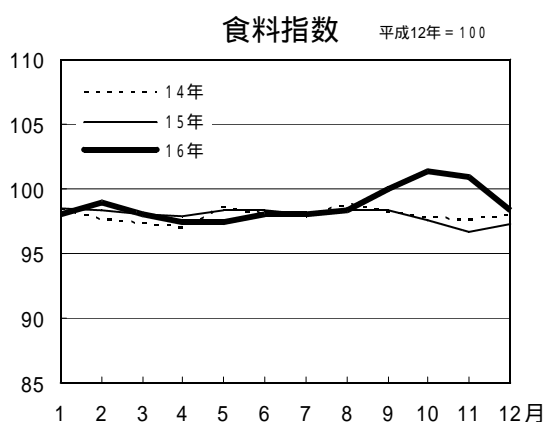


費目別指数の動き

(1) 食料

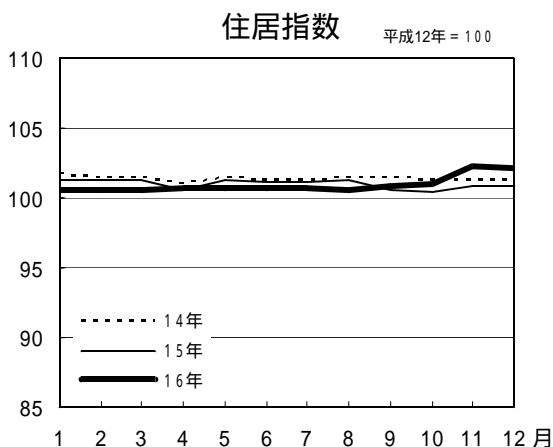
年平均指数は98.8となり、前年に比べ0.8%の上昇となった。生鮮食品についてみると、生鮮魚介が0.5%下落したものの、生鮮野菜が4.7%上昇、生鮮果物が0.8%上昇したため、生鮮食品全体では1.9%の上昇となった。

生鮮食品以外では、穀類は2.7%の上昇、肉類は5.3%の上昇、油脂・調味料は0.1%の上昇、外食は1.6%の上昇となった。一方、乳卵類は3.2%の下落、菓子類は1.1%の下落、調理食品は0.9%の下落、飲料は2.0%の下落、酒類は3.4%の下落となった。



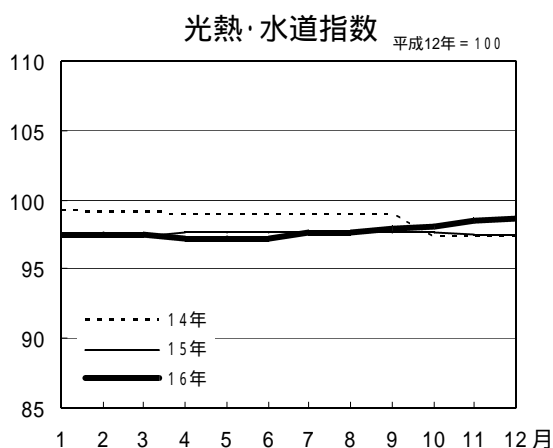
(2) 住居

年平均指数は101.0となり、前年と同水準となった。内訳をみると、設備修繕・維持は0.3%の上昇となった。一方、家賃は0.1%の下落となった。



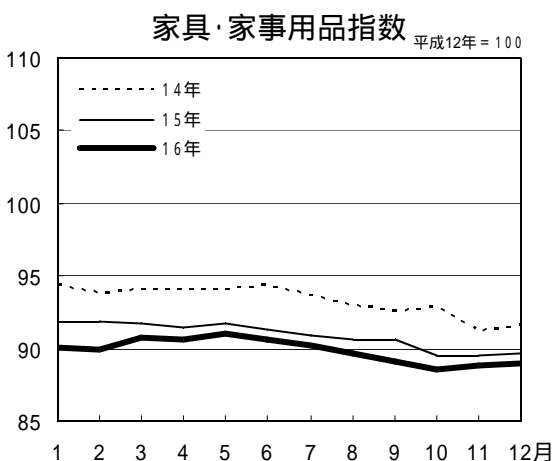
(3) 光熱・水道

年平均指数は97.7となり、前年に比べ0.2%の上昇となった。内訳をみると、他の光熱は4.4%の上昇となった。一方、電気・ガス代は0.1%の下落となった。なお、上下水道料は前年と同水準となった。



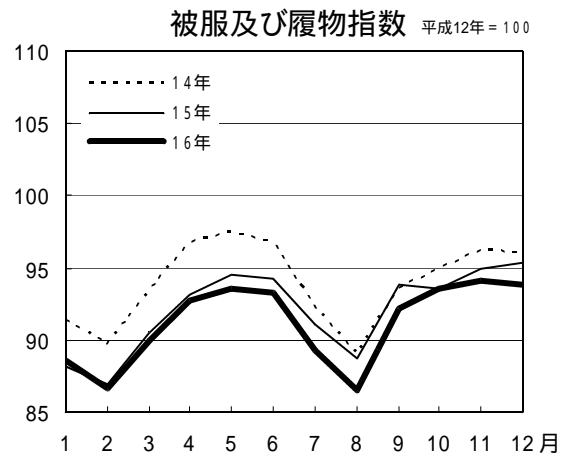
(4) 家具・家事用品

年平均指数は89.9となり、前年に比べ1.1%の下落となった。内訳をみると、家庭用耐久財は10.7%の下落、室内装備品は6.8%の下落となった。一方、寝具類は1.3%の上昇、家事雑貨は5.7%の上昇、家事用消耗品は0.7%の上昇、家事サービスは0.9%の上昇となった。



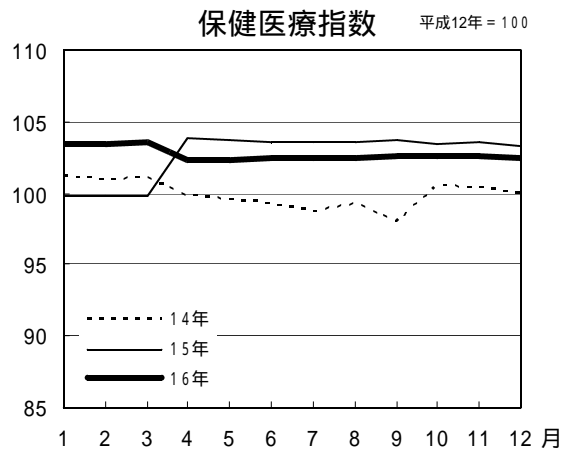
(5) 被服及び履物

年平均指数は91.2となり、前年に比べ1.0%の下落となった。内訳をみると、シャツ・セーター・下着類は4.6%の下落、生地・他の被服類は0.7%の下落となった。一方、衣料は0.1%の上昇、履物類は2.7%の上昇となった。



(6) 保健医療

年平均指数は102.7となり、前年と同水準となった。内訳をみると、保健医療サービスは0.9%の上昇となった。一方、医薬品・健康保持用摂取品は1.2%の下落、保健医療用品・器具は0.2%の下落となった。



(7) 交通・通信

年平均指数は97.5となり、前年に比べ0.2%の下落となった。内訳をみると、通信は1.1%の下落となった。一方、交通は0.4%の上昇、自動車等関係費は0.1%の上昇となった。

